

関西教育学会

第69回大会

大会プログラム

2017(平成 29)年 11 月 11 日(土)

大阪市立大学 杉本キャンパス

大会プログラム 目次

参加者へのご案内	2
JR 阪和線から会場まで	3
地下鉄御堂筋線から会場まで	4
全学共通教育棟 教室配置図	5
大会日程と会場	6
自由研究発表スケジュール	7
公開シンポジウム	13

参加者へのご案内

-
- 1. 受付**
- ・受付は8時40分から杉本キャンパス全学共通教育棟1階811横のエントランスホールで行います。なお、敷地内への開門時間が8時となっています。それまでは入構できませんので、ご注意ください。
 - ・50音順に受付を分けて準備する予定です。ご協力をお願いします。
 - ・自由研究発表の司会者の方、シンポジウム登壇者、理事の方は、別途受付窓口を設けますので、そちらにお並びください。
-
- 2. 参加費**
- ・大会参加費（発表要旨集録代を含む）は3,000円です。
 - ・大会当日だけの臨時会員の参加費（発表要旨集録代を含む）も3,000円です。
 - ・一般の方など公開シンポジウムのみ参加は無料です。
-
- 3. 学会費**
- ・入会ご希望の方は、受付に隣接する学会事務局にて2017年度会費5,000円をお納めください。また、すでに会員になっていらっしゃる方で、2017年度会費または過年度学会費を納入されていない方は、なるべく大会までに納入をお済ませいただくようお願いいたします。
-
- 4. 発表**
- ・自由研究発表は、個人発表の場合、発表20分・質疑10分、共同発表の場合、発表25分・質疑10分です。発表者が1名の共同研究は、個人発表に準じます。
 - ・終了時刻を知らせる呼鈴は使用しません。
 - ・発表取り消しに伴う発表時間の繰り上げはいたしません。
 - ・自由研究発表全体の終了は共同発表のある分科会も含めて12時00分です。時間に余裕のあるときは総括討論にあててください。
-
- 5. 昼食**
- ・学術情報総合センター（全学共通教育キャンパスの門の西側の11階建ての校舎）の1階の「野のはなハウス」が営業をしております。
 - ・キャンパスに北接するローソンもご利用できます。
 - ・会場内では、全学共通教育棟3階831の会員控室で、持ち込みの食事を召し上がっていただきます。
 - ・自由研究発表の司会者の方には、昼食時に全学共通教育棟3階831の会員控室内で、お弁当をお渡しします。
 - ・シンポジウム登壇者で打合せ会にご参加の方、理事会にご出席の方には、それぞれの会場でお弁当をご用意しています。
-
- 6. 情報交換会**
- ・情報交換会は、17時30分～19時の予定で、北食堂（全学共通教育棟の門を外から入ってすぐ右＝南側）で行います。
 - ・情報交換会費は3,000円（学生・院生は1,500円）です。公開シンポジウム終了時までに受付でお納めください。インフォーマルな雰囲気での研究交流の場として有意義な機会にしたいと思います。とくに若い研究者の方のご参加をお待ちしています。
-
- 7. 交通**
- ・「JR阪和線から会場まで」「地下鉄御堂筋線から会場まで」のページをご覧ください。
 - ・駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
-
- 8. その他**
- ・校舎内は全面禁煙となっています。敷地内でも喫煙場所は指定されています。ご協力をお願いします。
-
- 9. 連絡先**
- ・第69回大会公式 e-mail : kanedu@educa.lit.osaka-cu.ac.jp
 - ・〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
大阪市立大学大学院 文学研究科 森 久佳 研究室 気付
関西教育学会第69回大会 大会実行委員会事務局 宛
FAX 番号：06-6605-2461（電話による対応はできませんので、ご了承下さい）
 - ・大会当日のFAXの対応はできません。
-

JR 阪和線から会場まで

JR 大阪駅から環状線 天王寺駅経由 JR 阪和線 杉本町駅まで 35～50 分

JR 大阪駅から西九条、天王寺方面行（内回り）に乗車、JR 天王寺駅で下車

JR 天王寺駅から阪和線 普通（各駅停車）に乗車、JR 杉本町駅で下車

大阪市営地下鉄 御堂筋線 梅田駅から天王寺駅経由 JR 阪和線 杉本町駅まで 38～41 分

地下鉄梅田駅から天王寺方面行（すべての列車が天王寺に止まります）に乗車、天王寺駅で下車

大阪地下鉄 御堂筋線 天王寺駅から JR 天王寺駅に乗り換え

JR 天王寺駅から阪和線 普通（各駅停車）に乗車、JR 杉本町駅で下車

JR 阪和線 杉本町駅から徒歩約 7 分

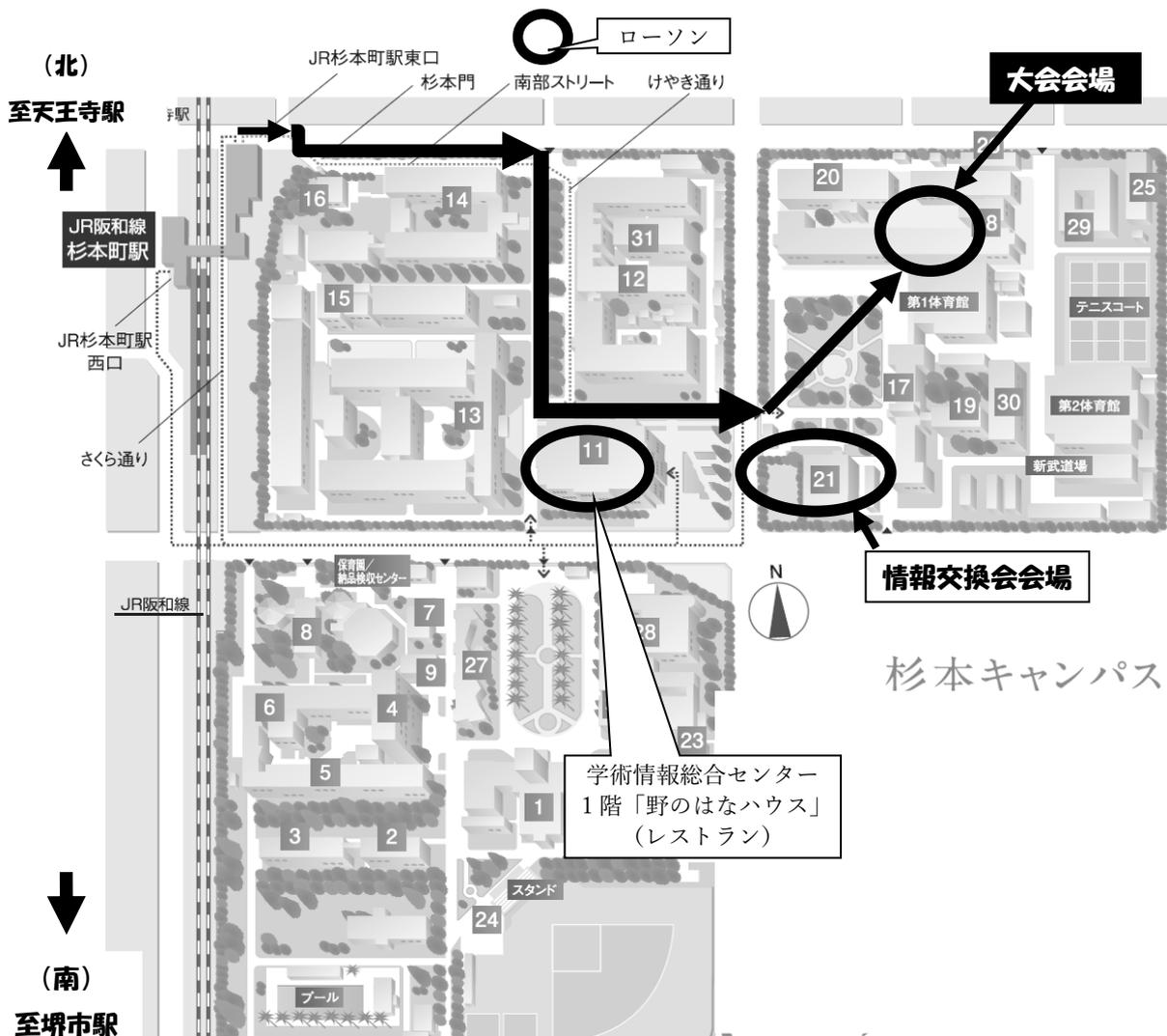
東出口改札を右折して東へ直進

南部ストリートをローソン前で右折して南へ

学術情報総合センター（11 階建）の手前を左折して東へ

全学共通教育（旧教養）キャンパスの門を入り北へ

ピロティをくぐって右折して校舎に入る



地下鉄御堂筋線から会場まで

大阪市営地下鉄 御堂筋線 梅田駅から、あびこ駅まで 25 分

地下鉄梅田駅から なかもず行（または、あびこ行、北花田行）に乗車（天王寺行はあびこ駅に行きません）、地下鉄あびこ駅で下車

大阪市営地下鉄 御堂筋線 なかもず駅から、あびこ駅まで 8 分

大阪市営地下鉄 御堂筋線 あびこ駅から徒歩約 25 分

地下鉄あびこ駅 4 番出口（または 3 番出口）より西へ直進

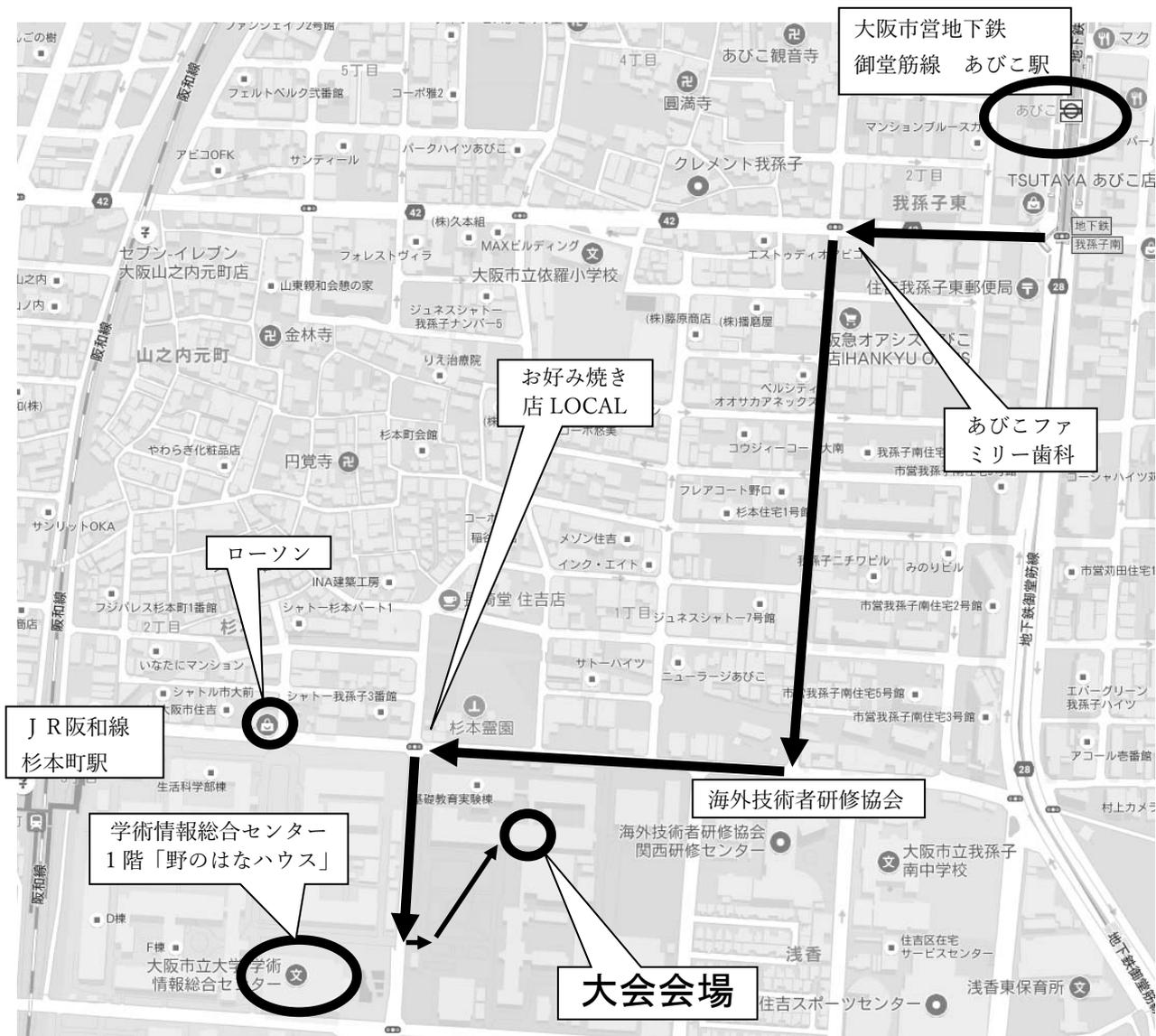
あびこファミリー歯科の角を左折して南へ直進

つきあたり（海外技術者研修協会関西研修センター）を右折して西へ直進

お好み焼き店（LOCAL）の角を左折して南へ直進

全学共通教育（旧教養）キャンパスの門を入り北へ

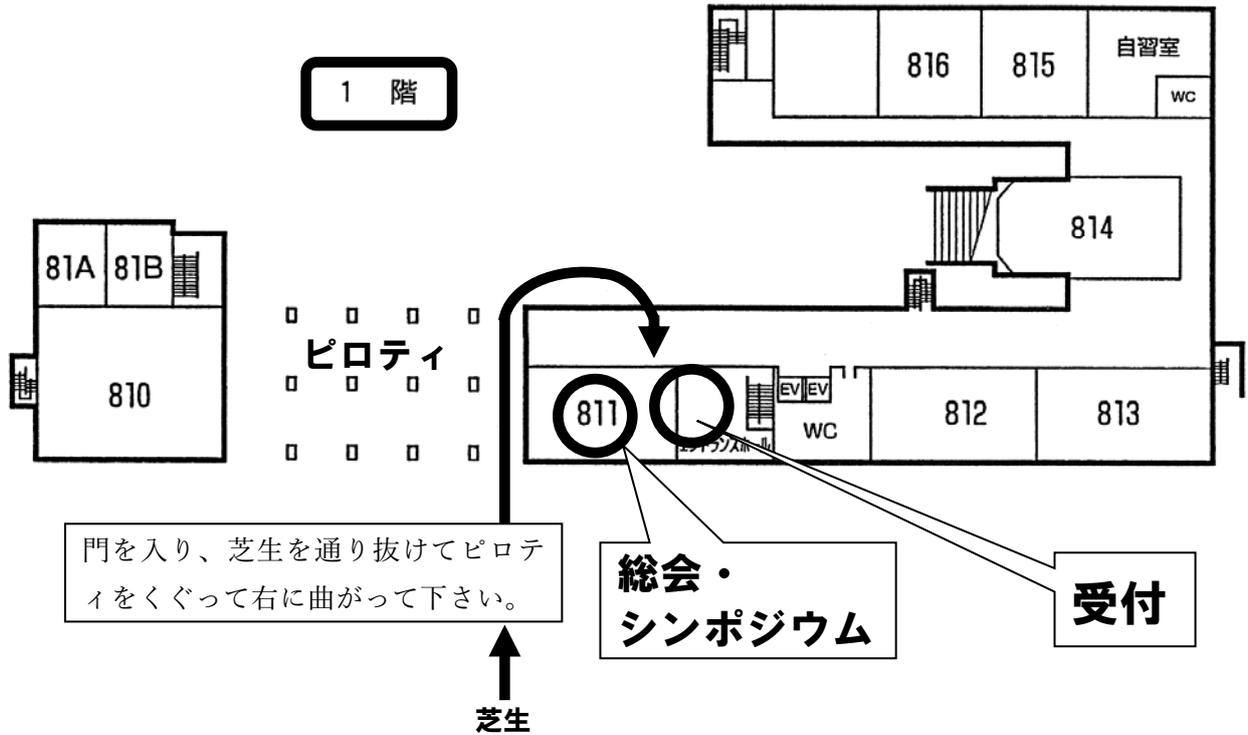
ピロティをくぐって右折して校舎に入る



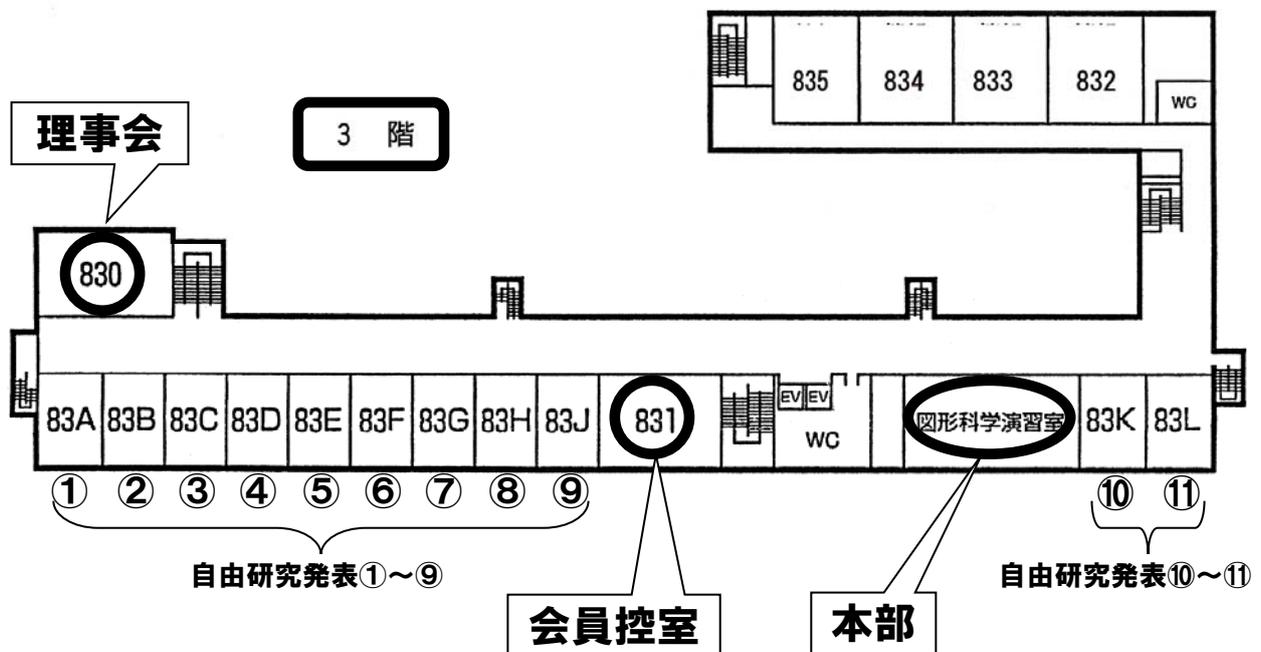
全学共通教育棟 教室配置図

← J R 側

地下鉄側 →



(大会で2階は使用しませんが、トイレの使用は可能です)



大会日程と会場

1. 受付	08:40 開始	全学共通教育棟 1 階 8 1 1 横エントランスホール
2. 自由研究発表	09:30~12:00	
① 教育史		全学共通教育棟 3 階 8 3 A
② 教育思想・哲学		全学共通教育棟 3 階 8 3 B
③ 教育方法・教育課程		全学共通教育棟 3 階 8 3 C
④ 生活科・総合的な学習の時間		全学共通教育棟 3 階 8 3 D
⑤ 児童・生徒理解と特別活動		全学共通教育棟 3 階 8 3 E
⑥ 教育と公共性		全学共通教育棟 3 階 8 3 F
⑦ 教育と多様性 (1)		全学共通教育棟 3 階 8 3 G
⑧ 教育と多様性 (2)		全学共通教育棟 3 階 8 3 H
⑨ 地域と学校		全学共通教育棟 3 階 8 3 J
⑩ 幼児教育・保育 (1)		全学共通教育棟 3 階 8 3 K
⑪ 幼児教育・保育 (2)		全学共通教育棟 3 階 8 3 L
3. 昼食	12:00~13:00	
4. 総会	13:00~13:45	全学共通教育棟 1 階 8 1 1
5. 公開シンポジウム	14:00~17:00	全学共通教育棟 1 階 8 1 1
6. 情報交換会	17:30~19:00	北食堂

【発表時間】

- ・個人研究発表： 発表 20 分 質疑応答 10 分
- ・共同研究発表： 発表 25 分 質疑応答 10 分（発表者が一人の場合は個人研究発表と同じ扱い）
- ・発表取り消しに伴う発表時間の繰り上げはいたしません。

【当日の発表資料】

- ・当日配布資料がある場合は、30 部を目安にご用意ください。会場には複写機がありません。
- ・資料は、原則として各発表の直前に各会場の出席者にお渡しします。残部は後ほど受付（1 階、811 教室横のエントランスホール）で配布します。

【プロジェクターを利用される方へ】

- ・発表の際、プロジェクターを利用される方は、9 時 15 分ごろまでに会場にて動作確認をしてください。
- ・発表用パソコンは発表者が持参してください。発表用機材としては、プロジェクターとスクリーン、3 列 15 ピンの VGA 端子のついた接続用ケーブルを準備いたします。
- ・パソコンをご持参される場合でも、念のため発表データを USB メモリ等に保存してご持参ください。

【昼食】

- ・学術情報総合センター（全学共通教育棟の門の西側の 11 階建ての校舎）1 階の「野のはなハウス」をご利用ください。キャンパスに北接したローソンもご利用いただけます。
- ・会員控室（全学共通教育棟 3 階 831）でも持ち込みの食事を召し上がっていただけます。

自由研究発表(9:30~12:00)

① 教育史 ***** 全学共通教育棟3階 83A

司会 宮坂 朋幸(大阪商業大学)
和崎 光太郎(京都市学校歴史博物館)

- 09:30 明治前期における福島尋常中学校移転問題
鈴木 敦史(びわこ学院大学)
- 10:00 奈良女子大学附属小学校所蔵の学校資料の状態について
——明治期における資料の劣化状況に着目して——
阪本 美江(大阪芸術大学短期大学部)
- 10:30 青年学校における塾風教育に関する一考察
——高知県禰原村立孝山塾について——
三羽 光彦(芦屋大学)
- 11:00 教育会から教職員組合へ
——1940年代日本における教員団体の移行——
富山 仁貴(関西学院大学大学院生)
- 11:30 戦後歴史教育における教育目標論の展開
——歴史的思考力の史的整理——
若松 大輔(京都大学大学院生)

② 教育思想・哲学 ***** 全学共通教育棟3階 83B

司会 鳶野 克己(立命館大学)
宮野 安治(関西福祉科学大学)

- 09:30 メノン篇における前提仮説法とプラトンの教育
東 敏徳(元・幼児教育専門学校)
- 10:00 自然環境における体験を重視した教育への一考察
——フレール教育論文集「地理学の教授」を基に——
馬場 住子(園田学園女子大学短期大学部)
- 10:30 道徳的態度とはどのような態度か
——フッサール現象学における態度論を手引きにして——
島田 喜行(同志社大学)
- 11:00 教師としてのハイデガーの教育理念
——第二次世界大戦期の教育活動(1942年の演習)を中心に——
佐藤 光友(同志社女子大学)
- 11:30 John Stuart Mill, *On Liberty* と中村正直訳『自由之理』、および千葉卓三郎作成「日本帝国憲法」(五日市憲法草案)の比較検討
——千葉の教育観を探るための考察——
岡本 洋之(兵庫大学)

自由研究発表(9:30~12:00)

③ 教育方法・教育課程 ***** 全学共通教育棟3階 83C

司会 石井 英真(京都大学)
藤原 顕(福山市立大学)

- 09:30 インドにおける子ども中心主義の展開
——Activity Based Learning に着目して——
渡辺 雅幸(京都大学)
- 10:00 新学習指導要領における教育課程の展開と教育方法についての研究
○八木 眞由美(明石市教育委員会)
五百住 満(関西学院大学)
- 10:30 一人一実験を可能にし、主体的・対話的な学びを深化させる理科生物マイクロスケール
実験の開発
内山 裕之(姫路大学)
- 11:00 学習者は自身の考えや疑問をいかに解消するのか
——協調学習と建設的相互作用を軸にして——
平塚 梨奈(大阪市立大学大学院生)
- 11:30 日本人のこころを解き放つマインドマップ
——芸術的に楽習し新規性と創造性の際限のなき宇宙へ飛び立とう——
幸前 憲和(クロスインデックス)

④ 生活科・総合的な学習の時間 ***** 全学共通教育棟3階 83D

司会 島田 希(大阪市立大学)
宮橋 小百合(和歌山大学)

- 09:30 具体的な体験物を活用することで鍛えられる生活科模擬授業の取組について
川渕 博祥(姫路大学)
- 10:00 生活科における昔遊び体験学習に関する検討
——低学年児童が、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成するために——
秋山 麗子(武庫川女子大学非常勤)
- 10:30 「総合的な学習の時間」における職場体験活動の意義と課題
長谷川 誠(神戸松蔭女子学院大学)
- 11:00 「総合的な学習の時間」における防災意識向上の取り組みとその指導に関する一考察
藤原 靖浩(大阪市立大学)
- 11:30 日本におけるサービス・ラーニングの展開(11)
——教科「奉仕」の長期的影響について——
○大東 貢生(佛教大学)
富川 拓(聖泉大学)

自由研究発表(9:30~12:00)

⑤ 児童・生徒理解と特別活動 ****全学共通教育棟3階 83E

司会 佐々木 正昭 (甲子園大学)
原 清治 (佛教大学)

- 09:30 対象喪失を経験した児童への教育的支援の在り方に関する研究
——発達段階及び発達特性を踏まえて——
大牟田 直規 (関西学院大学大学院生)
- 10:00 開発促進的カウンセリングのプログラムが小学校の学級経営に資する効果についての
検討
根津 隆男 (神戸松蔭女子学院大学)
- 10:30 学級活動を通して行う居場所づくり
——話し合いの場面に着目して——
中出 明知 (大阪市立大学大学院生)
- 11:00 公立中学校における特別活動に関する一考察
池原 征紀 (芦屋市立精道中学校)
- 11:30 中国の大学生を対象としたいじめの意識調査の検討
趙 形 (関西学院大学大学院生)

⑥ 教育と公共性 ****全学共通教育棟3階 83F

司会 飯吉 弘子 (大阪市立大学)
岸本 実 (滋賀大学)

- 09:30 J. デューイの「生き方としての民主主義」思想における教育的含意
——「政治教育」という視点から——
梶原 駿 (京都大学大学院生)
- 10:00 学校教育において政治的教養をはぐくむ場とはどこか
——ハンナ・アーレントの「公共性」概念から——
越田 佳孝 (兵庫県立洲本高等学校)
- 10:30 授業における教育的意味を再発見する試み
——公民科の授業を事例として——
高木 聡 (大谷大学非常勤)
- 11:00 生徒会活動の教員の指導に関する一考察
——合意形成を目指す話し合い活動を中心に——
小原 淳一 (大阪市立大学大学院生)
- 11:30 戦後教育政策における家庭教育の内容規定の過程と問題性
藤田 悠以 (大阪市立大学大学院生)

自由研究発表(9:30~12:00)

⑦ 教育と多様性(1) *****(1) 全学共通教育棟3階 83G

司会 田中 潤一 (大谷大学)
西垣 順子 (大阪市立大学)

- 09:30 戦後少女雑誌『ひまわり』に関する書誌的研究
田中 卓也 (共栄大学)
- 10:00 LGBTQ に対する生徒の認識と共依存の特徴
中間 茂治 (藍野高等学校)
- 10:30 保育者養成課程に在籍する学生は多様な性をどのようにとらえているのか
梅本 恵 (富山短期大学)
- 11:00 総括討論 (この部会のみ 11:30 ごろまで)

※大会プログラム暫定版がインターネットで公開された以降に、この部会から1名の発表辞退者がでました。その関係上、大会プログラム確定版では、その方の部分を削除し、部会全体の進行を繰り上げる修正を行っております。なお、大会プログラムの原稿が印刷会社に出稿された後に、万一辞退者が出た場合は、当日の辞退と同様に時間進行の繰り上げを行いませんのでご了承ください。

⑧ 教育と多様性(2) *****(2) 全学共通教育棟3階 83H

司会 添田 晴雄 (大阪市立大学)
広岡 義之 (神戸親和女子大学)

- 09:30 定時制・通信制高校に学ぶ生徒のキャリア形成について
富田 昇 (東大阪大学短期大学部)
- 10:00 現在の高校再編期における農業高校の現状と課題
——農業科における科目の構成と変容をめぐって——
井上 真求 (京都府立大学大学院生)
- 10:30 「多様な学び」をめぐる「自由」と子どもの「主体性」
○森岡 次郎 (大阪府立大学)
○福若 真人 (京都大学大学院生)
- 11:05 他者と出会い、共に学ぶ場としての学校
——トエック自由な学校の実践を手がかりに——
安原 章人 (鳴門教育大学大学院生)
- 11:35 総括討論

自由研究発表(9:30~12:00)

⑨ 地域と学校 ****全学共通教育棟3階 83J

司会 高谷 哲也(鹿児島大学)
中井 孝章(大阪市立大学)

- 09:30 民間人校長のリーダーシップを活用した学校経営
——私立学校を事例に——
大八木 淳史(同志社大学)
- 10:00 北海道釧路市におけるコミュニティ・スクールに関する研究
田中 達也(釧路公立大学)
- 10:30 コミュニティ・スクールの指定解除の動向とその要因
大橋 保明(名古屋外国語大学)
- 11:00 平和ガイドの活動とその機能に関する若干の考察
井上 力省(京都府立大学大学院生)
- 11:30 総括討論

⑩ 幼児教育・保育(1) ****全学共通教育棟3階 83K

司会 浅田 瞳(華頂短期大学)
戸江 茂博(神戸親和女子大学)

- 09:30 保育論の基礎としての人間学
——近藤薫樹による生物学のアレンジメント——
吉田 直哉(神戸松蔭女子学院大学)
- 10:00 保育者に求められる専門力と基礎力
○久保田 健一郎(大阪国際大学短期大学部)
野口 知英代(大阪国際大学短期大学部)
東山 薫(龍谷大学)
- 10:30 食事のマナーに関する保育者の働きかけの検討
——幼稚園5歳児クラスのお弁当場面の事例を通して——
水谷 亜由美(岐阜聖徳学園大学非常勤)
- 11:00 子どものつぶやきから捉えた言葉の育ち
安藝 雅美(芦屋大学)
- 11:30 子育て支援「子育てカフェ」を終えて
——学生・保護者のアンケートからの一考察——
中山 美佐(大阪樟蔭女子大学)

自由研究発表(9:30~12:00)

⑪ 幼児教育・保育(2) * * * * * 全学共通教育棟3階 83L

司会 中島 千恵(京都文教大学)
村井 尚子(京都女子大学)

- 09:30 保育者養成学生における幼少期の「遊び」に関する回想的研究
藤重 育子(園田学園女子大学)
- 10:00 保育の連続性を踏まえた「幼児教育指導計画」の作成過程とその指導方法
——教育学科3年生の授業実践——
小尾 麻希子(武庫川女子大学)
- 10:30 保育士養成課程学生の保育実習における意識変化に関する研究
——施設見学と実習経験の有無による相違の検討を通して——
新川 泰弘(関西福祉科学大学)
- 11:00 保育力を培う演習について(8)
——地域の伝統文化を取り入れた保育——
篠原 いくよ(池坊短期大学)
- 11:30 総括討論

公開シンポジウム

14:00～17:00

全学共通教育棟 1階 811

民主的な学校づくりと公教育

——オルタナティブ教育の視点から問い直す——

シンポジアスト

- ・藤田 美保（箕面こどもの森学園）
- ・西村 拓生（奈良女子大学）
- ・滝沢 潤（広島大学）

司会

- ・田中 圭治郎（佛教大学名誉教授）
- ・柏木 敦（大阪市立大学）

【趣旨】

周知のように、学校を基本とする公教育制度に内在する画一性や均一性に対しては、国内外においてこれまで幾多も批判がなされ、その克服のために、個性的存在である子ども自身の学びを重視した「オルタナティブ」な教育の在り方を探る取組みが展開されてきた。わが国では、「登校拒否」や「不登校」の児童生徒の受け皿として、こうした取組みに社会的な関心が寄せられてきた側面もあり、今日では、まさに多様なオルタナティブ・スクールが運営されることで学校を相対化する動向が見受けられる。2016年12月に制定・公布された「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」（通称、教育確保法）は、そのような動きを公教育の問い直しの観点から顕在化させた大きな出来事の1つだとみなされ得よう。

しかし、一方で、同法では当初盛り込まれていた「多様な」という文言が削られ、学校外での学習を義務教育として認める当初の方針も、結果として明記されなかった点などが批判されている。また、「オルタナティブ」の概念自体が「多様」でありすぎることや、オルタナティブ・スクール自体が（自らが批判していた）「学校」になり得る矛盾を抱えている等の批判も見られる。これらのことから鑑みると、オルタナティブ教育の視点なしに公教育に対する問い直しを図ることは、今日では困難であると思われる。

このような視座に立った上で、本シンポジウムでは、オルタナティブ教育の立場から学校づくりに関わっている方々をパネリストとしてお迎えし、オルタナティブ・スクール自体の抱える矛盾等にも目を向けながら、公教育の抱える問題や課題、そして今後の在り方についての議論を展開したいと考えている。

シンポジアスト紹介

【藤田 美保 (ふじた みほ)】

箕面こどもの森学園校長、NPO 法人箕面こどもの森学園理事。

立教大学文学部初等教育専攻卒業後、小学校教諭となる。自由学校への道を模索し始め、大阪市立大学大学院文学研究科教育学専攻前期博士課程に進学、在籍中に「大阪に新しい学校を創る会」(2003年「特定非営利活動法人大阪に新しい学校を創る会」を経て、2009年「NPO 法人箕面こどもの森学園」に改称)に出会う。2004年に「わくわく子ども学校」(「箕面こどもの森学園」の前身)の常勤スタッフとなり、2009年から「箕面こどもの森学園」校長。おるたね関西(多様な学びネットワーク)事務局、多様な学び保障法を実現する会運営委員として、多様な学びを推進するための法案作りやネットワークづくり・実践研究に取り組む。

著書に『こんな学校あったらいいな ～小さな学校の大きな挑戦～』築地書館、2013年。

箕面こどもの森学園の公式HP：<http://kodomonon-mori.com/npo/npo.html>

シンポジウムでは、箕面こどもの森学園の校長の立場からご提案いただく。

【西村 拓生 (にしむら たくお)】

奈良女子大学教授(文学部 人間科学科 教育学・人間学コース等を担当)、同大学 教育システム研究開発センター長。

専門は教育思想史・教育哲学。研究課題は、芸術教育論・美的教育論の思想史的検討、教育的公共圏の生成に関する研究など。

シンポジウムに関わる主な論文として、「主体・母性・家族——近代教育の前提は如何に脱構築されるべきか?」(教育思想史学会『近代教育フォーラム』25、148～151頁、2016年)、「教育におけるケアと公共性——親と教師が学校をつくる経験から」(西平直編著『ケアと人間——心理・教育・宗教』ミネルヴァ書房、2013年)、「あえてシュタイナーのシラー論を語ってみる——『美と教育』再論への一つの試み」(教育思想史学会『近代教育フォーラム』21、45～66頁、2012年)、「NPO 法人による学校づくりにおける教育的公共圏の生成——京田辺シュタイナー学校の事例から」(平成17-19年度科学研究費補助金・基盤研究(B)報告書(研究代表者 菊地栄治)『公共圏』を生成する教育改革の実践と構造に関する総合的研究』、29～56頁、2008年)などがある。

シンポジウムでは、保護者および研究者として京田辺シュタイナー学校の設立に関わった経験も踏まえてご提案いただく。

【滝沢 潤 (たきざわ じゅん)】

広島大学准教授(大学院教育学研究科 教育学講座)。

専門は教育行政学、教育制度学。研究課題は、多言語社会における教育統治、大阪府市における教育行政改革の展開と課題。

主な論文は、「日米の教育ガバナンス改革と学校づくり(アメリカ教育学会第27回大会シンポジウム 選択・分権・学校づくり——日米の経験から考える)」(『アメリカ教育学会紀要』27号、96～101頁、2016年)、「大阪市教育委員会における『熟議「学校選択制」』の検討——「教育の民意」の形成における熟議の可能性」(日本教育行政学会編『学会創立50周年記念 教育行政学研究と教育行政改革の軌跡と展望』教育開発研究所、105～111頁、2016年)、「言語マイノリティの平等な教育機会の保障における学校選択の可能性——カリフォルニア州における双方向イマージョン・プログラム実施校の検討——」(『日本教育行政学会年報』40号、91～108頁、2014年)、「大阪府市条例による教育統治および教育行政機構の改変」(日本教育制度学会『教育制度学研究』20号、74～79頁、2013年)。

シンポジウムでは、教育行政(学)の視点から、民主的な学校づくりと公教育についてご提案いただく。

関西教育学会第 69 回大会実行委員会

実行委員長： 柏木 敦

事務局長： 森 久佳

実行委員： 飯吉弘子、大久保敦、島田 希、添田晴雄、
中井孝章、西垣順子、藤原靖浩（以上教員）
位 瑋、小原淳一、川崎真奈、小村利絵、
中出明知、平塚梨奈、藤田悠以（以上大学院生）